

科目名	ブランドプランニング	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース ブランドディレクター専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	120	作成者	塩田千織

【科目の到達目標】

パーソナリティについて理解し、オリジナルのアパレルブランドを立案する。また、単なる自己満足とならぬよう、時代性、ターゲット需要を考慮した商品化計画ができるようになる。

【科目の概要】

本科目では、パーソナリティを活かしたアパレルブランドの立案計画をおこなうことを主軸とし、ファッションマーケティングを実践的に習得します。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1・2	リサーチプレゼン/コンセプト		31・32 企画書 商品アイテム企画
3・4	コンセプト決定/ロゴデザイン		33・34 企画書 プロモーション企画
5・6	服飾雑貨 デザイン考案		35・36 プレゼンテーション原稿作成
7・8	ブランドコンセプトデザイン		37・38 プレプレゼンテーション
9・10	ペルソナ分析		29・40 コンテスト前最終調整
11・12	販売促進計画		41・42 上安祭プレゼンテーションコンテスト
13・14	ブランド企画書仕上げⅡ		43・44 事業分析と売上分析
15・16	アパレル市場分析Ⅰ(マクロ分析)		45・46 アパレル商品リサーチ
17・18	アパレル市場分析Ⅱ(SWOT分析)		47・48 アパレル商材 デザイン考案Ⅰ
19・20	ブランド戦略立案Ⅰ(クロスSWOT分析)		49・50 アパレル商材 デザイン考案Ⅱ
21・22	ブランド戦略立案Ⅱ(ポジショニングマップ)		51・52 アパレル商材 デザイン考案Ⅲ
23・24	新作商材 デザイン考案Ⅰ		53・54 アパレル商材 デザイン考案Ⅳ
25・26	新作商材 デザイン考案Ⅱ		55・56 最終プレゼンテーション資料作成Ⅰ
27・28	新作商材 デザイン考案Ⅲ		57・58 最終プレゼンテーション資料作成Ⅱ
29・30	夏休み明け新作商品チェック		59・60 最終プレゼンテーション会

【成績評価方法】

提出課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	ECアパレル	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース ブランドディレクター専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	松下竜樹

【科目の到達目標】

商品撮影技術、オンラインショップ運営、SNSマーケティング、データ分析、商品説明文作成のスキルを習得し、ECアパレルビジネスにおける実務に即した戦略を立案・実行できる能力を身につける。
オンラインショップ・SNS運営や商品ページ作成を通じて、販売促進に直結する知識を身につける。

【科目の概要】

EC(電子商取引)におけるアパレル業界の実践的な運営方法を学ぶ。商品を効果的にオンラインで販売するための基本的な知識と技術を習得する。商品の撮影技術、オンラインショップの運営方法、SNSを活用した集客・マーケティング手法を学び、実際に自分たちでECサイトやSNSを運営するスキルを身につけます。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	オリエンテーション	16	ECサイト運営
2	EC業界の把握と基礎用語	17	ECサイト集客用動画
3	ブランドSNS立ち上げ	18	ECサイト集客用動画
4	撮影・カメラ・ライティング	19	ECサイト集客用動画
5	画像加工(Photoshop、Lifgtroom)	20	ECサイト集客用動画
6	商品・スタイリング撮影、SNS運営	21	ECサイト集客用動画
7	商品・スタイリング撮影、SNS運営	22	ECモール調査
8	商品・スタイリング撮影、SNS運営	23	ECサイト・SNS運営
9	ECサイト立ち上げ	24	ECサイト・SNS運営
10	ささげ業務、梱包方法	25	ECサイト・SNS運営
11	ECサイト数値分析	26	ECサイト・SNS運営
12	ささげ業務修正	27	ECサイト・SNS運営
13	ECサイト運営	28	ECサイト・SNS運営
14	ECサイト数値分析、プレゼンテーション準備	29	ECサイト・SNS数値分析、プレゼンテーション準備
15	ECサイト運営報告プレゼンテーション	30	ECサイト・SNS運営報告プレゼンテーション

【成績評価方法】

提出課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

ノートパソコン(Photoshop、Ligthroom)、ミラーレス一眼カメラ、三脚、撮影ライト

科目名	経営戦略理論	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース ブランドディレクター専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	60	作成者	新家章秀

【科目の到達目標】

就職したいブランドもしくは起業で参考にしたいブランドを各学生が選び(原則通年変更なし)、前期は「営業売上高のアップ施策案」、後期は「営業売上高・営業利益アップの施策案」を期末に、アパレル業界で仕事をした時に通用するプレゼンテーションが出来るレベルになる。

【科目の概要】

実践的な経営戦略を学び、どのようにすれば、売上・営業利益アップにつながるのかを学びます。この授業は、将来、アパレル業界に就職したり、起業することを目指している学生に、「これだけは知っておいて欲しいファッションビジネスの基礎知識を学び」、「伝える力」をつけて、「人を動かせる力」をつけて欲しいと思い、内容を組み立てています。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	組織と業務内容(業務フロー)	16	利益構造の構築について
2	売上アップ視点のショッピングポイント	17	粗利率(原価率・販売掛率)と消化率
3	売上アップ視点の顧客分析と商品構成	18	高付加価値戦略による粗利率アップ
4	購買客数・客単価アップのアクション	19	製造原価の内訳と値上げ状況
5	出店立地戦略(ドミナント戦略など)	20	経費率(固定費・変動費)(財務会計・管理会計)
6	コト・モノ・意味・体験消費(購買行動)事例	21	人的生産性アップ
7	顧客の囲い込み(RSC分析)について事例	22	費用対効果について
8	アパレル業界のDX・オムニチャネルの事例	23	3M・QCD・6つの業務改善
9	プロセスエコノミー、ストーリー戦略の事例	24	成長戦略について
10	ユニクロ・アダストリアなどの新戦略	25	フランチャイズビジネスについて
11	行動経済学ナッジ・社会貢献の事例	26	戦略マップについて
12	越境EC、循環型サービスの事例	27	ビジネスモデル別の利益構造について
13	プレゼンテーション	28	プレゼンテーション
14	プレゼンテーション	29	プレゼンテーション
15	フィードバック	30	フィードバック

【成績評価方法】

テスト(プレゼンテーション)30% 提出課題60% 授業態度10%
前期・後期にそれぞれ4回の提出物とプレゼンの評価。加えて授業態度にて評価します。□

【教科書・参考書】

1ヶ月以内に起きたファッションビジネスに関連する事例をもとに、それぞれのテーマで、まとめて配布します。サンクス先生のファッションビジネスの授業(WEBテキスト)・これだけは知ってほしいファッションビジネスの教科書(電子書籍)など

【教材・教具】

プリントを配布 パソコン・Google クラスルーム、スライド

科目名	トレーニングタイム	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース ブランドディレクター専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	松下絢子

【科目の到達目標】

オリジナルブランドを立ち上げ、商品の企画・製造からマーケティング・販売までの一連のプロセスを通じて、持続可能なブランド運営のスキルを実践的に習得することを目指す。

【科目の概要】

本科目では、学生が自らオリジナルブランドを立ち上げ、運営する実践的なプロジェクトに取り組む。年間通じて、ブランドの商品開発、オンラインサイトやSNSを活用したマーケティング、ポップアップショップの営業を行う。運営を通して創造力、戦略的思考、コミュニケーション能力、そして持続可能なビジネス運営のスキルを習得する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1・2	企画書作成		31・32 新商品発注
3・4	孔版印刷会社見学・訪問		33・34 プロモーション計画Ⅱ
5・6	アイテム展開企画		35・36 ブランド運営
7・8	オリジナルブランドタグ作製		37・38 ブランド運営
9・10	ブランド運営・商品発注		39・40 ブランド運営
11・12	イベントディスプレイ計画Ⅰ		41・42 イベントディスプレイ計画Ⅱ
13・14	プロモーション計画Ⅰ		43・44 ブランド運営
15・16	イベント収支・運営分析		45・46 ブランド運営
17・18	イベント営業報告		47・48 ブランド展示会
19・20	トレンド分析		49・50 ブランド展示会
21・22	ブランド運営		51・52 ブランド展示会
23・24	ブランド運営		53・54 ブランド展示会
25・26	売り上げ分析・報告		55・56 ブランド運営報告準備
27・28	ブランド運営		57・58 ブランド運営報告準備
29・30	ブランド運営		59・60 ブランド運営報告

【成績評価方法】

提出課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

ノートパソコン

科目名	ビジュアルマーチャンダイジング	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース ブランドディレクター専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 60 % 実習 40 %
時間数	60	作成者	道仲阿子

【科目の到達目標】

VMの意義とその効果を理解し、リテールレイアウト計画能力のある人材の育成を目指す。
販売員が店頭管理する重要性が分かり、買いやすく、メンテナンスしやすい売り場作りができる。
さらに店舗の課題を抽出し、改善策を立てられる人材を目指す。

【科目の概要】

視覚的表現や効果を的確に捉え、店舗で求められている考え方や、リテールのサイズによる導線計画を踏まえて、お客様目線から捉えたVM計画を習得する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	VMとは①		16 ゾーニング計画①
2	VMとは②		17 ゾーニング計画②
3	VMとは③		18 ハンガーラックディスプレイ
4	VMとは④		19 壁面プランニング①
5	プレタ展のVP計画書①		20 壁面プランニング②
6	プレタ展のVP計画書②		21 ディ스플레이実践①
7	プレタ展のVM作成		22 ディ스플레이実践②
8	プレタ展 搬入		23 ディ스플레이実践③
9	プレタ展 搬入		24 ポップアップショップ準備
10	テーマ別VM①		25 ポップアップショップ準備
11	テーマ別VM②		26 ポップアップショップ準備
12	テーマ別VM③		27 ポップアップショップ搬入
13	雑誌分析コーディネート①		28 ポップアップショップ搬入
14	雑誌分析コーディネート②		29 ポップアップショップreflection
15	期末試験		30 期末試験

【成績評価方法】

提出課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

なし

【教材・教具】

授業スライド
持っている学生はノートパソコン、iPadを持参すること

科目名	ファッションビジネス論	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース ブランドディレクター専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80% 実習 20%
時間数	60	作成者	塚井良太 / 樂愛美

【科目の到達目標】

ファッションビジネスの周辺領域にある様々なサブカルチャーやアート・音楽など幅広い知識を身に着ける。
コレクションからトレンドを読み取り、次シーズンのトレンド予測ができる。

【科目の概要】

時代に合ったビジネス感覚を養うべくファッションビジネスにおける最新のトレンドやニュース・ビジネス情報をリアルタイムで学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1	現代アートとファッション1	16 スニーカーの歴史
2	現代アートとファッション2	17 デニムの歴史1
3	繊維ファッション産業の歴史	18 デニムの歴史2
4	アパレル産地研究Ⅰ	19 古着
5	アパレル産地研究Ⅱ	20 古着
6	アパレル産地研究Ⅲ	21 市場調査
7	アパレル産地研究プレゼンテーション	22 イベント見学
8	ファッションビジネスに関する法務の知識	23 イベント見学
9	コンプライアンスとは	24 多様性とファッション
10	ファッション業界のSDGsと未来Ⅰ	25 海外のアパレル産業・小売産業Ⅰ
11	ファッション業界のSDGsと未来Ⅱ	26 海外のアパレル産業・小売産業Ⅱ
12	販売チャネルの多角化が及ぼす影響	27 アパレルMDとリテールMD
13	世界で活躍する日本の経営者	28 アパレル生産と物流
14	総復習	29 総復習
15	テスト	30 テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具、PC

科目名	販売技術Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース ブランドディレクター専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 50% 実習 50%
時間数	120	作成者	塚井良太/島津和音

【科目の到達目標】

「販売技術Ⅰ」にて習得した販売の基礎知識を元に、顧客ニーズの開発をきっかけに顧客づくりが出来、アパレルショップのショップチーフ・ショップマスターとして、営業展開計画、商品管理、顧客管理、人事管理、売場管理が出来る人材を育成。

【科目の概要】

アパレル販売の接客担当者(FA)における役割は、販売だけに留まらない。最終消費者に直接接することができる店頭販売員は、販売を通じて得た顧客の声を生産者に伝えるという重大な使命がある。本教科では、顧客の心理を理解し、ライフスタイルに沿った商品提案と、顧客管理、ショップマスターとしてのマネジメント能力を習得する。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1 2	現在の自分を知る	31 32 アイテム別対応 ジャケット
3 4	販売スタッフの役割と意識	33 34 アイテム別対応 アウター・重衣料
5 6	販売テクニック アプローチ、お聞き出し	35 36 アイテム別対応 フットウェア
7 8	販売テクニック 会話力	37 38 アイテム別対応まとめ
9 10	販売テクニック セールストーク	39 40 セルフマネジメント、コミュニケーション
11 12	販売テクニック 体型別対応	41 42 セールスリーダーの役割
13 14	販売テクニック 色を味方につける	43 44 ティーチング、コーチングスキル
15 16	販売テクニック パーソナル対応Ⅰ	45 46 後期中間実技テスト
17 18	販売テクニック パーソナル対応Ⅱ	47 48 クレーム対応
19 20	前期中間実技テスト	49 50 ショップチーフの役割
21 22	ラッピング技術	51 52 ショップマスターの仕事
23 24	販売テクニック FR誘導	53 54 ショップ運営計数管理
25 26	販売テクニック お客様タイプ別対応	55 56 販売テクニック シーズン立ち上がり
27 28	前期末筆記テスト/弱点強化対応	57 58 後期末筆記テスト/接客ロールプレイング
29 30	前期末実技テスト(上安祭RP予選)	59 60 後期末実技テスト

【成績評価方法】

課題評価 60% 試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

『ファッション販売2 ファッション販売能力検定2級公式テキスト』 財団法人日本ファッション教育振興協会

【教材・教具】

アパレル商品・店舗什器一式・店舗備品、上條美由紀『ビジュアル版 プロの接客術』織研新聞社
『ファッション販売』 商業界

科目名	商品製作Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース ブランドディレクター専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 10% 実習 90%
時間数	120	作成者	山田友己

【科目の到達目標】

洋服の構造、製作工程、シルエットとパターンや素材の関連性等を理解し、ファッションに携わる者として、相応しい商品のセレクトやコーディネートができる知識の習得。

【科目の概要】

デザイン・仕様・素材等、様々な角度から洋服を研究。実際に製作し、また、それに関する作業をすることにより、仕事をする上で必要な知識を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1・2	リメイク作品①	31・32 ワンピース① パターントレース
3・4	リメイク作品②	33・34 ワンピース② 裁断・芯貼り・標付け
5・6	企業・店舗見学	35・36 ワンピース③ 縫製
7・8	プレタ販売作品製作①	37・38 ワンピース④ 縫製
9・10	プレタ販売作品製作②	39・40 ワンピース⑤ 縫製
11・12	プレタ販売作品製作③	41・42 ワンピース⑥ 縫製
13・14	プレタ販売作品製作④	43・44 ワンピース⑦ 縫製
15・16	パンツ① パターントレース	45・46 ワンピース⑧ 縫製
17・18	パンツ② 裁断・芯貼り・標付け	47・48 ワンピース⑨ お直しについて
19・20	パンツ③ 縫製	49・50 ワンピース⑩ 仕上げ・検品
21・22	パンツ④ 縫製	51・52 創作作品① デザイン
23・24	パンツ⑤ 縫製	53・54 創作作品② 縫製
25・26	パンツ⑥ 縫製	55・56 創作作品③ 縫製
27・28	パンツ⑦ お直しについて	57・58 創作作品④ 仕上げ
29	パンツ⑧ 仕上げ・検品	59 創作作品⑤ 仕上げ・検品
30	前期末試験	60 後期末試験

【成績評価方法】

提出課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

「立体式洋裁」上田安子著 服飾手帖社 改訂版 / 「パンツ」「ワンピース」上田安子服飾専門学校 最新版 教員作成のオリジナルプリント

【教材・教具】

実物、それに準ずるサンプル、部分縫いの見本
シン等縫製機器、洋裁道具、製図道具、課題を製作するための生地、副資材など

科目名	ビジネスマナーⅡ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	ファッションビジネスコース ブランドディレクター専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	30	作成者	美濃岡京子

【科目の到達目標】

ヒューマンスキル・コミュニケーションスキルの向上を図り、どのような職場でも実力を発揮できる社会人基礎力を身につける。
 ・ビジネスマナーの基本知識や動作を体得し、お客様や組織内から「安心」「信頼」を勝ち取る人材になれることを目指す。
 ・社会人として、個あつての団体。団体あつての個をまなび自己成長に役立てる。
 ・社会で必要とされているビジネスマナーとホスピタリティマインドを習得し、希望の就職先から内定を得る。

【科目の概要】

臨機応変な対応ができるようにビジネスシーンを想定しながら実技練習を重ねる。
 ・AIやロボット化の時代において人間にしかできない「おもてなし精神」を表情、言葉、態度で具現化できるよう、1分間スピーチやロールプレイングを多く取り入れ体得してもらおう。
 ・自身の価値に気が付き、将来のビジョンをもって叶えられるように人間力を養う。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	ガイダンス・自己価値とマナーの重要性		
2	ビジョン構築		
3	ビジョンボード作成（提出課題）		
4	自己PR作成と面接対策①		
5	自己PR作成と面接対策②		
6	模擬面接①		
7	模擬面接②		
8	ホスピタリティーマインド		
9	ビジネス実務「お礼状の書き方」		
10	社会人としてのマナー「洋食」		
11	社会人としてのマナー「和食」		
12	慶弔のマナー		
13	金包みのマナー		
14	まとめテスト		
15	チームコミュニケーション		

【成績評価方法】

提出課題の評価 40% 期末試験 50% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

田野直美「ビジネスでの常識集」 トータルマナー株式会社 最新版

【教材・教具】

ビジョンボード作成・ボード自由・添付用資料・文房具

科目名	ワークショップ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	ファッションビジネスコース ブランドディレクター専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 70 % 実習 30 %
時間数	30	作成者	塚井良太

【科目の到達目標】

ファッションビジネスにおける接客や知識について様々な角度から学び、幅広く物事を捉え考察できる事を目標とする。

【科目の概要】

各テーマに沿った講師を招き、専門性に特化した接客や経営について講義やグループワーク、ロールプレイングにより学ぶ。また、接客に必要な外国語基本単語やフレーズを身につけ接客スキルの自信に繋げる。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 中国語圏、英語圏の消費者、観光客について - 免税手続き
- 2 中国語 - 販売における会話の基本
- 3 中国語 - 実用会話 色、アイテム、サイズ、会計
- 4 英語 - 英語圏の消費者、観光客について - 免税手続き
- 5 英語 - 販売における会話の基本
- 6 英語 - 実用会話 色、アイテム、サイズ、会計
- 7 古着屋経営とオリジナルブランド立ち上げ
- 8 アウトドアブランドの現状
- 9 ホスピタリティ
- 10 セレクトショップ経営とブランド開拓
- 11 作品制作
- 12 作品制作
- 13 プレス業界 撮影
- 14 ラグジュアリーブランド接客
- 15 ラグジュアリーブランド接客 実践

【成績評価方法】

課題60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	ファッションビジネスコース ブランドディレクター専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 100%
時間数	30	作成者	古濱伴子

【科目の到達目標】

素材の特性、機能性を理解し、目的に合わせた商品選定や、適した取り扱いが出来るようになる。

【科目の概要】

機能性商品など、市場には様々な特徴のある商品が並んでいる。繊維ごとの特性を実験や演習を交えながら解説し、そのメンテナンスに至るまで習得する。

【授業計画】

90分/コマ

前期

後期

- | | |
|----|------------------------------|
| 1 | オリエンテーション |
| 2 | 家庭用品品質表示法 洗濯表示 |
| 3 | アパレル商品の取り扱いについて |
| 4 | 天然繊維 |
| 5 | 化学繊維(1)再生繊維・半合成繊維 |
| 6 | 化学繊維(2)合成繊維
ナイロン・アクリル |
| 7 | 化学繊維(3)合成繊維
ポリエステル・ポリウレタン |
| 8 | 合成皮革・人工皮革 |
| 9 | 衣服に求められる機能と着心地 |
| 10 | 糸の種類 |
| 11 | 織物の組織とその特徴 |
| 12 | 編物の組織とその特徴 |
| 13 | 加工・染色・トラブル |
| 14 | 総復習 |
| 15 | 総合テスト |

【成績評価方法】

提出課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

一見 輝彦「わかりやすいアパレル素材の知識」ファッション教育社 2012年
「生地の事典」株式会社みずしま加工 2013年

【教材・教具】

筆記用具

科目名	ファッション史Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	ファッションビジネスコース ブランドディレクター専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 90% 実習 10%
時間数	30	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

- ・時代背景や世界情勢によって影響を受け変化するトレンドの流れを理解する。
- ・時代によって生み出された技法やシルエット、ディテールの変遷を学び、服飾デザインの基礎知識を習得する。

【科目の概要】

服飾の起源から現代にまで繋がる服飾デザインの変換を図版、絵画、写真、映画などのヴィジュアル資料から学んでゆく。

90分/コマ	前期	後期
		1 ガイダンス 【導入】現代の情勢と服飾トレンドの変化 2 古代ローマ～ビザンチン 3 ルネサンスと衣服 4 バロック時代：エリザベスⅠ世 5 マリーアントワネット：革命と失脚 6 復習/小テスト 7 復習/発表 8 ナポレオンの登場と19世紀ドレスの変容 9 オートクチュールの誕生 ベルエポックとレ・ザネ・フィル 10 世界恐慌とファッションの復興 11 プレゼン作成① 12 プレゼン作成② 13 プレゼンテーション/課題作成 14 復習/まとめ 15 テスト

【成績評価方法】

課題作品評価60% 期末試験・小テスト30% 平常点10%

【教科書・参考書】

教科書「世界服飾史」

【教材・教具】

授業スライド 配布プリント